

# 国土強靱化施策を円滑に進めるためのインフラDX等の推進に係る対策【国土交通省】

## 施策概要

頻発化・激甚化する災害を踏まえた防災・減災、国土強靱化に資する建設生産プロセスのデジタル化の推進及び技術開発の促進を実施

## 効果

被災現場の迅速な応急復旧や遠隔での災害復旧工法等の検討が可能になり、災害復旧の迅速化に寄与



国土交通省

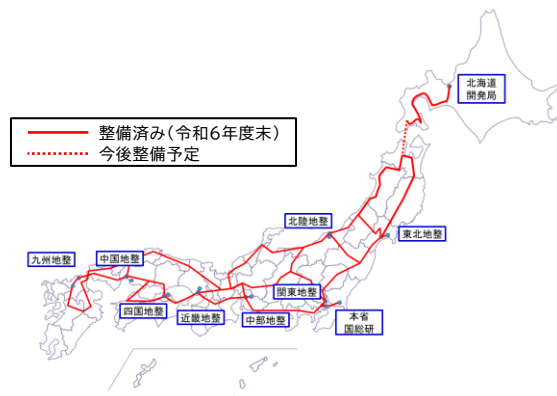


インフラDXネットワークの整備

## 全国的な対策と効果

### 対策1 インフラDXネットワークの整備

インフラDXネットワークは、ICT施工等で活用する3次元モデル等の大容量データを遅延のない伝送を可能とするもの。当該ネットワーク整備により、災害時でもICT活用工事や遠隔での施工等で扱う大容量データを集約し、今後被災現場の迅速な応急復旧や遠隔での災害復旧工法等の検討が可能となり、早期の災害復旧につながる。



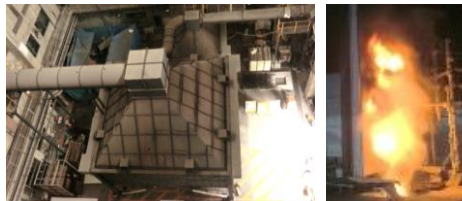
### 対策2 研究機関の実験設備等の整備

#### ○交差点実験フィールドの整備



信号機の停電による交通混乱等の影響の検証および対策の検討が可能となり、国内での設計手法の確立等を加速化する。

#### ○実大火災実験用排煙処理装置の整備



排煙処理装置(イメージ)

JISファサード試験

外装ファサードの燃え広がり性状・発熱量等を把握、研究成果をJISへ反映することで、市街地の防火性能向上を加速化する。

## 5か年加速化対策の効果

3次元モデル等の大容量データを遅延なく伝送することで、検討判断の中枢を担う対策本部等で大容量データを一元的に確認することができ、被災現場の迅速な応急復旧や遠隔での災害復旧工法等の検討が可能となり、早期の災害復旧につながる。

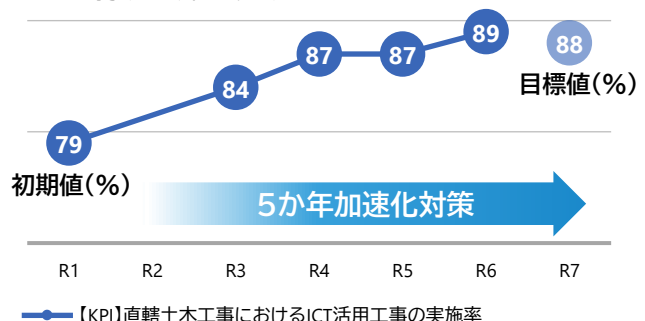
(例)対策本部等での対応事例 ▶  
高速データ伝送により複数箇所の現地映像や会議映像を同時に遅滞なく伝送し迅速な災害対応が可能に



## 予算額(国費)(加速化・深化分)

R3	R4	R5
16億円	65億円	30億円
R6	R7	累計
24億円	11億円	145億円

## 目標達成の見通し



※ このほか、加速化・深化分以外の予算も措置されている